

プレスリリース
PRESS RELEASE
2019/3/30

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

やなぎみわ展
神話機械
MIWA YANAGI : Myth Machines

2019年4月19日（金）～6月23日（日）



《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島Ⅱ》2016年 作家蔵



概要

このたびアーツ前橋では、やなぎみわの個展を開催いたします。1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも忘れられないシーンを投じてきた美術家やなぎみわ（1967～）。〈エレベーター・ガール〉で最初に注目を浴び、〈マイ・グランドマザーズ〉や〈フェアリー・テール〉といった一連の写真作品で世界的に評価を受け、2009年には第53回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表となり好評を博しました。

一方で、翌2010年には本格的に演劇プロジェクトを始めます。大正期の日本を舞台に、新興芸術運動の揺籃を描いた「1924」三部作（「Tokyo-Berlin」、「海戦」、「人間機械」）で話題を集め、特に2014年台湾で製造したステージ・トレーラーを母体に2016年から日本各地を巡礼する野外劇「日輪の翼」（原作：中上健次）は大きな感動を与えました。

その舞台作品と並行して、日本神話をモチーフに桃を撮影した新作シリーズを制作しており、今回一挙公開します。また10年ぶりの大規模な個展となる本展に向け、群馬工業高等専門学校をはじめ、京都、高松、福島の学生らと連携した「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がり、マシンによる神話世界も展覧会場に生み出されます。

美術と舞台の両極を往還することで生まれるやなぎ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していくものです。待望された本展では、これまで以上にやなぎの汲み尽くせぬ創造の泉に迫ります。

野外劇「日輪の翼」が各地を巡回したように、本展覧会は、異化空間を漂流し、つなぎあい、また見送る者としてのやなぎが、作品と共に全国5会場を巡ります。アーツ前橋は、高松市美術館に続く開催となります。

本展の見どころ

10年ぶりとなる やなぎみわの大規模回顧展

やなぎは 1990 年代に写真作品のシリーズで注目を浴び、2010 年からは本格的に演劇プロジェクトも開始します。本展では、新作の写真シリーズと「シアター・モバイル・プロジェクト」に加え、過去の代表的な作品、そして舞台作品のアーカイブを資料や映像で紹介します。やなぎの美術家としての活動を見渡すことができる回顧展です。

東日本大震災以降取り組んできた写真シリーズ 国内初展示

東日本大震災以降の 2016 年から、「日本神話と桃」をテーマに福島県で取り組んできた写真シリーズ〈女神と男神が桃の木の下で別れる〉。大阪、ベルリン、高雄（台湾）で発表された本作品を一挙公開します。

マシン 4 機が展示空間にあらわれる

本展に向けて、約 1 年前から「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がりマシン 4 機を製作しました。「モバイル・シアター・プロジェクト」とは、「動き回る小型劇場」。つまり、舞台上演のための小型のマシンです。群馬工業高等専門学校をはじめ、京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学、香川高等専門学校、福島県立福島工業高等学校の 5 校が連携協力してマシンを製作。展示室にウィリアム・シェイクスピアやハイナー・ミュラーなどの戯曲の一場面が繰り広げられます。

やなぎみわ構成・演出によるライブパフォーマンスを上演

「モバイル・シアター・プロジェクト」の一環として、ライブパフォーマンス“MM”を 2 日間上演します。マシン 4 機の展示空間で、高山のえみ（俳優）、内橋和久（音楽）を招いた、やなぎみわ構成・演出による有人公演です。美術×機械工学×舞台芸術がクロスオーバーする実験作です。



撮影：表恒匡 提供：高松市美術館

開催概要

- 【展覧会名】やなぎみわ展 神話機械
- 【会 期】2019年4月19日（金）～6月23日（日）
- 【開館時間】10:00～18:00（入場は17:30まで）※4月から開館時間を変更しました
※5月17日（金）・18日（土）はパフォーマンス開催のため17:00に展覧会場のみの閉場
- 【休 館 日】水曜日 ※5月1日（水・祝）は開館、5月7日（火）を閉館
- 【会 場】アーツ前橋 地下ギャラリー
- 【観 覧 料】一般600円／学生・65歳以上・団体（10名以上）400円／高校生以下無料
※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は観覧無料
※5月12日（日）は母の日のため観覧無料
※『MM』セット割：パフォーマンスチケットと同時購入された方は400円
- 【主 催】アーツ前橋、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 【協 賛】ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、
J A ふくしま未来、J A グループ福島
- 【協 力】京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学、ROBOCON 挑戦プロジェクト、
香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、
一色事務所、堀内カラー
- 【後 援】上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、前橋商工会議所
- 【企画協力】一般社団法人 MIWA YANAGI OFFICE

同時開催

- 【展覧会名】身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から
- 【会 期】2019年4月19日（金）～7月9日（火）
- 【休 館 日】水曜日 ※5月1日（水・祝）は開館、5月7日（火）を閉館
- 【会 場】アーツ前橋 1F ギャラリー
- 【観 覧 料】無料

プレスプレビュー

- 【期 日】2019年4月18日（木）
- 【時 間】14:00～18:00（※最終入場時間は17:30）
※14:30より出品作家のやなぎみわと担当学芸員が作品を紹介します。

関連イベント

① ライブパフォーマンス『MM』

構成・演出：やなぎみわ 出演：高山のえみ 音楽：内橋和久

日時：2019年5月17日（金）・18日（土）19:30開演（19:00受付）

※5月17日終演後にアフタートークあり

会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

定員：各回先着70名（3/15より総合案内にて予約販売・電話予約可）

参加費：1,500円

※本プロジェクトは、JSPS 科研費 JP17H00910 に関連する作品です。

② やなぎみわ講演会

日時：2019年5月19日（日）14:00~15:30

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員：先着40名

参加費：無料（要観覧券）、要電話申込み

③ ロボット教室

日時：2019年5月11日（土）14:00~16:30

会場：アーツ前橋 スタジオ

定員・対象：先着30名・小学生以下（未就学児は保護者同伴）

参加費：無料、要電話申込み

④ 学芸員によるギャラリートーク

日時：2019年5月12日（日）、6月1日（土）14:00~15:00

会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

参加費：無料（要観覧券）、事前申し込み不要

⑤ おしゃべりアートデイズ

日時：2019年6月3日（月）~6月9日（日）

月火木金は14:00~14:30、土日は11:15~11:45

会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

参加費：無料（要観覧券）、要電話申込み

※全て問い合わせ・お申込みはアーツ前橋（tel:027-230-1144）まで

やなぎみわ 略歴

1967 年神戸市生まれ。1991 年京都市立芸術大学大学院（工芸専攻）修了。1990 年代半ばより、若い女性をモチーフに、CG や特殊メイクを駆使した写真作品を発表。制服を身につけた案内嬢たちが商業施設空間に佇む〈エレベーター・ガール〉、2000 年より女性が空想する半世紀後の自分を写真で再現した〈マイ・グランドマザーズ〉、少女と老婆が登場する物語を題材にした〈フェアリー・テール〉シリーズ等により国内外で個展多数。

2009 年第 53 回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表、2010 年より演劇プロジェクトを始動。大正期の日本を舞台に新興芸術運動の揺籃を描いた『1924』三部作（2011-12）を美術館と劇場双方で上演し話題を集めた。あいちトリエンナーレ 2013 にて上演した『ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ』は 2015 年アメリカ・カナダを巡回した。横浜トリエンナーレ 2014 を皮切りにステージトレーラー・プロジェクトが立ち上がり、2016 年には野外劇『日輪の翼』となって横浜・新宮・高松・大阪への移動公演を行った。2018 年高雄美術館（台湾）の国際企画展に招待され、新作写真〈女神と男神が桃の木の下で別れる〉等を発表した。



やなぎみわ氏（提供：熊野新聞）

今後の巡回会場

- | | |
|----------------|--|
| ・福島県立美術館 | 2019 年 7 月 6 日（土）～9 月 1 日（日） |
| ・神奈川県民ホールギャラリー | 2019 年 10 月 20 日（日）～12 月 1 日（日） |
| ・静岡県立美術館 | 2019 年 12 月 10 日（火）～2020 年 2 月 24 日（月） |

主な展示作品

【1】



【2】



【3】



【4】



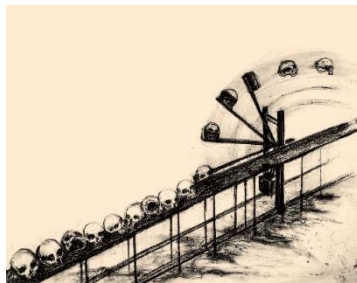
【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



- 【1】《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島Ⅱ》2016年 作家蔵
【2】《次の階を探してⅠ》（部分）1996年 高松市美術館蔵
【3】《My Grandmothers：MINEKO》2002年 高松市美術館蔵
【4】《UntitledⅡ》2004年 アーツ前橋蔵
【5】《XXXS-XXXL》2010年 株式会社 資生堂蔵 撮影：山本糾
【6】《桃を投げる》2018年 作家蔵

- 【7】《神話機械のためのドローイング》2018 年 作家蔵
【8】ライブパフォーマンス『MM』2019 年 撮影：表恒匡
【9】やなぎみわ氏（提供：熊野新聞）

「やなぎみわ展 神話機械」広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○を付けてください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット
【1】	《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島Ⅱ》2016 年 作家蔵
【2】	《次の階を探してⅠ》（部分）1996 年 高松市美術館蔵
【3】	《My Grandmothers：MINEKO》2002 年 高松市美術館蔵
【4】	《UntitledⅡ》2004 年 アーツ前橋蔵
【5】	《XXXS-XXXL》2010 年 株式会社 資生堂蔵 撮影：山本糾
【6】	《桃を投げる》2018 年 作家蔵
【7】	《神話機械のためのドローイング》2018 年 作家蔵
【8】	ライブパフォーマンス『MM』2019 年 撮影：表恒匡
【9】	やなぎみわ氏（提供：熊野新聞）

◎読者プレゼント用招待券(5 組 10 名様) ☐希望します ☐希望しません

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地：	
TEL:	FAX:
E-MAIL:	

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材、収録等は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当：辻・吉田(学芸担当)、堺(事務担当)

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL：027-230-1144 FAX：027-232-2016

URL：http://www.artismaebashi.jp/

Email：artismaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

アーツ前橋

[公共交通機関]

JR 前橋駅から徒歩約 10 分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分

[自動車]

関越自動車道 前橋 IC から車で約 15 分



※**P**マークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に 4 時間無料の割引処理をいたします。